



# 鉄建 NEWS

令和5年2月28日発行 第339号



を振り返って

## 建材部編

建材部・山本章裕

私が入社したのは平成2年、世の中はバブル絶好調時代。

今もそうですが当時は好景気による人手不足で、倍率1倍の狭き門を潜り抜け入社(汗)

建材部への配属が決まると早々に鋼材センター研修を3か月間で終え、7月から当時施工中だった長崎屋帯広店のALC工事で現場に常駐となり、そこで約2か月間の現場研修。

当時19歳、仕事どころか建築用語すら解らないほぼ素人が、常時2~30人の強面の職人さんに囲まれ、怒られながらも何とかその現場を終える事が出来ました。

その当時の帯広は、当然駅は旧駅舎で鉄道高架もされておらず、線路を渡るには大通の跨線橋か西5条のアンダーパスを通過していましたし、本社前の西南大通も線路で寸断されており、西5条まで迂回していて交通はかなり不便でした。

営業担当をする様になって苦労したのは図面のコピーでした。

当時はメールどころかパソコンも無い時代、お客さんから見積の依頼をいただくと、訪問してA1サイズ数十枚の図面を借り、会社に戻ってA3のコピー機で4分割コピーし、4枚をセロハンテープで貼り合せてから図面を返却。

30枚の図面をコピーするとなると120枚を貼り合せるのですから、かなり面倒で憂鬱でした。

今となっては図面や見積書はメールでやりとりし、A1サイズもプロッターで簡単に出力出来る時代で、その他の色々な物が便利になり仕事の効率は当時に比べ格段に上がったと思います。

道具が良くなっても、それを使う人間が上手く使いこなさなければ何の意味も成しません。

オッサンになり物覚えも悪くなっている事を自覚しながらですが



「自分自身まだまだ進歩しなければ！」 と思います。

## 釣り同好会



1月28日に阿寒湖へワカサギ釣りに行ってきました。寒波が来ていたためか最低気温-20°と猛烈な寒さです。そんな中でもたくさんの方が釣りに来ていました。

貸テントに入り釣りを始めるとコンスタントに当たりがきます。

活性は悪くないようでアワセが下手な私でもいいペースでワカサギが釣れます。

10時頃には自己ベストの50匹を更新し、このペースだと100匹越えを狙えるかも！と期待が高まります。昼頃になるといつもは釣れなくなることが多いですが、

今回はむしろ爆釣。湖面の近くでエサが無くて魚が釣れるという活性の高さに驚きです(笑)

最終的には160匹程釣り自己ベストを大幅に更新。

社長や脇坂さんは300匹越えと過去にない程の大漁となりました。

来年はアワセを上手になって200匹以上釣れたらいいなと思います。 松本真輔



# ハゲタカ

真山伝作

読書感想文の依頼を受け、良い機会と捉え十数年前に読んだ本を読み直して当時感じた事と今日までの経験や身に付いた知識とを比較する事も面白いと思いこの本を選びました。

題名は「ハゲタカ」。

真山伝作で日本バブルがはじけた当時(1991年)を舞台にした俗名ハゲタカと呼ばれた外資系投資ファンドと日本企業の再生に携わる人々を描いた内容で、フィクションではあるが実在する企業をモデルに書いた面もあり、実に奥深く面白い作品です。

もう少し詳しく書くとバブル崩壊後に大量の不良債権を抱える銀行と銀行のバルクセール(複数の不良債権の一括処理)を冷酷に完膚なきまでに買い叩く外資系ファンド。日本の企業のおごり、経営者による私物化、銀行に最後通告を受けても尚自分達は生き残ろうとする人間模様を上手く書いています。

さて、この本の興味深いところはハゲタカの本当の意義であると考えます。外資系ファンドはただ買い叩き巨額の利益を上げていくだけだと思われるのですが、実は日本企業の甘い経営術への戒めと負の債権の無効化により、そこから企業を再建していくという事が本来の狙いであるようです。そして30年の月日が経ちどう変わったのか? 今も外資(今はアジア系)が変わらず資金にモノを言わせ買っています。しかし日本企業も負けじと様々な時代を乗り越えて強い企業も沢山誕生しています。そのプロセスを見る事で十数年前に感じた事や発想の違いを改めて考える事が出来ました。当時とは違い「ハゲタカ」という小説に何かを求めて再読することで現代社会、経営感を見直すきっかけになったような気がします。

文字数の関係上全ては伝えられませんが面白い小説ですのでお勧め出来る一冊だと思います。

本社 TKMAN

## ボウリング同好会

1月29日に数年ぶりの工

業団地主催のボウリング大会がありました。

鉄建からは、【吉口・森・永田】と【神・浅川・内藤】の2チームが参加し、全17チームで競いました。

開催は日曜日でしたが、竹田さん杉本さん阿部さんが応援に来てくれました。少しでもいいところを見せようとハイスコアを目指して頑張っていたのですが、180前後と自分の中ではあまり良い点数ではなく3人にあまりいい所を見せることが出来なかったな~と思いました。…つまらなかったかな??

ですが、最終結果としては、【吉口・森・永田】チームは見事優勝!そして個人でも準優勝することができました!もう一つのチームは…ご想像にお任せしますね。

大会後はウエスタンで親睦会があり、普段あまり話す機会のない杉本さん阿部さんと話が出来ておじさんはとっても嬉しかったです!

…杉本さんがたくさん写真を撮ってくれてたけどみんながこよく映って

たかな???

吉口 浩正



## 社内報のネタを提供して下さい!!

総務より、社員の皆さんにお願いです((+\_+))

社内報のネタ…下さい!

【こんな連載いいんじゃない?】

【自分、この話書きたいです!】などなど…

何か提供できるネタがあれば

総務までご一報ください!!

うっわうっわ侵攻が始まってから一年が経ってしまいました。まだ終結の兆しが見えないのは悲しい限りです。  
面親は、子供の頃に戦争体験しています。食糧の不足や、警戒など出来るはずもなく、親の手伝いをするのが子供の仕事だったとよく聞かされていました。  
戦後七十八年経った今でも忘れられない悲しい思い出があります。  
平和でいられることが如何に大切かを感じずにはいられません。  
佐藤